

## ムーディーズによるインドネシアの格上げについて

大和証券投資信託委託株式会社

格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス社(以下、ムーディーズ)は1月17日、インドネシアのソブリン格付けを外貨建て、自国通貨建ての双方ともに、Ba2からBa1に格上げすると発表しました(見直しは「安定的」)。ムーディーズは2010年12月1日に、インドネシアの格付けを引き上げ方向で見直すを発表しており、今回の格上げ自体はさほど驚きではありません。とはいえ、外国人投資家の信認という点では、格上げはインドネシアへの資金流入にプラス材料であると見られます。

ムーディーズは、経済の回復力、外貨準備高・政府債務ポジションの改善、直接投資の流入観測の改善を今回の格上げの理由としています。これらの要因は今後も続く可能性が高いため、インドネシアのソブリン格付けについては投資適格のBaa等級に格上げされる時期は近づいたと考えられます。

一方、インドネシア中央銀行のダルミン総裁は、1月14日に、コア消費者物価上昇率が加速した場合には利上げを行う可能性を示唆しています。また、同総裁は「利上げは資本流入を通じてインドネシア・ルピア上昇をもたらしやすいが、中央銀行はある水準まではインドネシア・ルピア高を容認する」と発言しています。ちなみに、2010年12月のコア消費者物価上昇率は前年同月比4.3%上昇しましたが、ハルタディ中央銀行副総裁は「コア消費者物価上昇率が5%を上回れば中央銀行は利上げにちゅうちょしないだろう」と2010年12月22日に発言しています。なお、次回の定例金融政策理事会は2月4日に予定されており、早ければ利上げが決定されるとの見方が浮上しています。

以上

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会